

(様式3)

女性農業者活躍促進計画

実施主体名	しが農業女子 100人プロジェクト
取組	(1) 女性農業者グループの活動支援
構成員数	正会員 (女性) 24名

1 事業実施方針

1、「みどりの食料システム戦略」も制定され、今後、環境配慮型の農業、有機農業の推進が急速に進むと考えられ、特に滋賀県は琵琶湖を有し環境意識も高く当団体の会員も実践者は多い。また滋賀県の立地が大都市圏近郊であることから都市部の消費者へ直接販売する生産者も多い。  
このような理由から、今回有機農業のパイオニアであり、小さくて強い農業を長年実践されている久松農園（茨城県）を調査・視察することで団体としても、生産者としても学び成長する機会とする。

■団体としての学び

- ・多くの新人研修生を受け入れ独立させるノウハウ（人材育成）
- ・全国の生産者ネットワーク構築の秘訣
- ・当団体の活動についてのアドバイス

■生産者としての学び

- ・大都市近郊への直接販売実現のプロモーションの方法
- ・商品の受注・販売力とそれを支える管理システムの構築方法
- ・継続した有機農業の実践における技術向上の方法
- ・農と食をつなげるイベント「Spot and Table」の実施

それぞれが成長し、自分らしく輝ける女性農業者を増やして行く  
当団体としても新規就農希望者の研修の受け皿になれるよう努める。

2、女性農業者の魅力を発信する為に有効なツールとして動画の配信を今後強化していきたい。  
そのため、既存のHPをメンテナンスし滋賀で頑張る女性農業者の魅力と農産物の魅力を発信していく

(注) 具体的に記載してください。

2 女性農業者活躍に向けた実施体制

女性農業者の正会員 24名。  
 (業務分担)  
 総括担当者1名、総務担当者1名、渉外担当者1名、視察担当者1名、WEB管理担当者1名、会計担当者1名

3 女性農業者活躍のため実施している取組及び今後の取組

(1) 女性の就農希望者、新規就農者の呼び込みに向けた取組

内容	成果/目標	備考
(実施中の取組) 1)新規就農者の研修、インターンシップ受け入れ 2) 農業女子活躍の情報発信 (HP,Facebook,Instagram) 3) 農業高校へ出前授業  (今後の取組) 1)新規就農者の研修、インターンシップ受け入れ継続 2)農業女子活躍、新規就農者への情報発信拡大 3) 就農希望や農の関心がある方との交流の場「アグリカフェ」の滋賀県との共催	1)女性5名 (2020年度) 2)Facebook フォロワー 1566名 Instagram フォロワー 374名 (2021年4月末現在) 3) 正会員3名講師担当  1) 年間5人(目標) 2) HPに動画配信機能追加及びSNS フォロワー 500名増加(目標) 3) 年3回開催	

(注) 「内容」欄には具体的な取組内容等を記載し、必要に応じ、計画の詳細等を記載した資料を添付してください。

(2) 女性の新規就農者の農業や地域への定着に向けた取組

内容	成果/目標	備考
(実施中の取組) 1) オンライン定期交流会の開催 (会員同志の情報交換や問題を抱えている人へ課題解決の知恵を出し合う、経理事務、販路開拓、情報発信方法などの情報共有ができた) 2) 滋賀県知事との対談を滋賀県広報誌に掲載 広報誌読者プレゼントに野菜や加工品セット提供	1)年4回実施  2)団体の認知にかなりの効果があり、問い合わせも増え、新規サポーター会員も3名入会。 3)年3回各回3名講師担	

<p>3) 「女性のためのアグリセミナー」を滋賀県と共催、セミナー講師も担う</p> <p>4) 田んぼの生き物調査会を百菜劇場と共催</p> <p>5)しが農業女子販売ブース設置 大中愛菜館、イオン近江八幡店地場野菜売り場</p> <p>(今後の取組)</p> <p>1) オンライン定期交流会の継続</p> <p>2) 田んぼの生き物調査会の継続</p> <p>3) 売り場の継続とマルシェ出店</p>	<p>当</p> <p>4)年3回のべ40名参加 (新型コロナの感染拡大防止により人数制限)</p> <p>5)団体の広報効果と新規就農者の販路確保ができている</p> <p>3)マルシェ出店年2回</p>	
---	---	--

(注) 「内容」欄には具体的な取組内容等を記載し、必要に応じ、計画の詳細等を記載した資料を添付してください。

### (3) 女性農業者の活躍に向けた取組

内容	成果/目標	備考
<p>(実施中の取組)</p> <p>1)サポーター企業と連携し、会員が一斉に一つのものを作る「枝豆栽培講習会～たんくろうを作ろう」を実施、情報共有や栽培指導を受けられるネットワークを構築。正会員は「しが農業女子の枝豆」として企業と連携して販売予定</p>	<p>(目標)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・初めて栽培しても聞きながらできるようになる</li> <li>・農業女子統一のブランド化により商品価値の向上</li> <li>・正会員の所得向上につなげる</li> <li>・確かな栽培技術を習得して、新規就農者に技術指導できる</li> </ul>	

(注) 農業委員等に選出された等、地域での活躍状況等を「内容」欄に具体的に、取組内容等を含め記載し、必要に応じ、計画の詳細等を記載した資料を添付してください。

## 4 女性の活躍推進対策事業を活用した取組の計画内容

### (1) 地域の女性ネットワークづくり、女性グループ活動

#### 【計画内容】

時期	内容 (対象者・方法等)	備考
----	--------------	----

2021年2月	活動①有機農業の先進者（茨城県）への視察研修 ・視察先（計画）：久松農園と茨城県の農業女子 ・視察目的：有機栽培と販売全般、受注と経理システム、青空レストラン、新規就農者研修制度を学ぶ、他県農業女子との交流を図る活動②既設ホームページに活動状況や魅力発の配信機能を追加、通年、動画を準備する	
2021年3月		

（注） 「内容」欄には支援内容、対象者、実施方法等を具体的に記載し、必要に応じ、計画の詳細等を記載した資料を添付してください。

(2) 働きやすい環境整備への支援

【計画内容】

時期	内容（対象者・方法等）	備考

（注） 「内容」欄には支援内容、対象者、実施方法等を具体的に記載し、第4の（2）の事業の応募者は、確保する施設等について5名以上の女性の利用者がいることがわかるよう記載し、必要に応じ、計画の詳細等を記載した資料を添付してください。

5 女性農業者確保の目標

事業実施年度翌年度までの女性農業者の新規確保人数	20人
（新規確保女性農業者の内訳） 自営農業就業者 5人、雇用就農者 2人、アルバイト・ボランティア等 13人	

(別表 3)

## 審査基準

	審査項目 (採点基準)
実現性	① 事業計画の妥当性 本事業を実施する背景や、本事業で解決しようとする事項等、産地として将来の姿まで含めた事業の全体方針について具体的に描かれているか。
	② 実施体制 事業を的確に実施するために必要な実施体制、事業設備等、役割分担及び責任体制が明確になっているか。
	③ 地域の把握・分析 事業計画作成段階における地域の女性や女性農業者の状況について十分に把握・分析されているか。
	④ 成果目標の水準 具体的な数値目標等が設定され、その目標が高水準かつ実現性があるか。
	⑤ 事業の継続性 女性活躍の推進に向けた活動が、本事業実施期間終了後も継続的に実施される見込みがあるか。
	⑥ 実施主体の適性 事業実施主体の能力（専門的知見の有無や当該地域との関係性等）や関係機関との連携状況等から総合的に判断し、本事業による取組が実現できるか。
広域性	○ 支援対象 特定の農業者のみを対象とする取組でなく、5名以上の農業者がグループに所属、又は5名以上の女性の施設利用者を対象とする取組であるか。
波及性	○ 活動の普及の可能性 本事業による取組について、他の地域に波及することが期待できるか。
確保人数	○ 女性農業者の新規確保人数 ※女性農業者は、新規参入者、自営農業就農者(結婚を機に就農された方含む)、雇用就農者、アルバイト、ボランティア等を含む農業関連事業従事年間 30 日以上の方とします。